

## 鳥取県自主防災組織等知事表彰の表彰実績（平成17～28年度）

※表彰区分は、次のとおりです。

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 1 功績表彰 | 災害現場等において功績抜群の活動をして他の模範となった場合 |
| 2 功労表彰 | 他の模範となる自主防災活動又は防災教育を行った場合     |

### 【平成17年度】

区分	被表彰者 (所在地・活動開始時期)	活動概要
功績表彰	いちのせじ ちほうさいかい 市瀬自治防災会 (智頭町・平成10年)	平成16年9月の台風21号による床上浸水等の災害に対し、住民への的確な避難誘導を行い、人的被害を防いだ。
功労表彰	わかばだいみなみろくちょうめほうさいかい 若葉台南六丁目防災会 (鳥取市・平成3年3月)	婦人消防隊・シルバー消防隊・レスキュー隊を編成するとともに、夜間訓練や担架搬送訓練等の様々な活動を展開した。
	てんじんちようじ ちこうみんかん 天神町自治公民館 (倉吉市・昭和31年)	「地震時の自主防災マニュアル」の作成や住民所有の防災資機材の登録制度の設立など、工夫を凝らした活動を展開した。
	かみごとう 2 くほうさいかい 上後藤2区防災会 (米子市・平成13年10月)	災害時要援護者情報を掲載した地図及び災害時要援護者避難誘導マニュアルの作成・更新を行った。また、心肺蘇生法講習会や簡易型災害図上訓練等を実施した。
	よねかわちようほうさいかい 米川町防災会 (境港市・平成9年4月)	簡易型災害図上訓練や炊出・消火・避難訓練等の実施をはじめ、防災に係る研修会の開催など、防災意識の普及に努めた。
	くろさかちゆうじしゅうぼうさいいんかい 黒坂地区自主防災委員会 (日野町・平成14年9月)	鳥取県西部地震での教訓を活かした地域独自の訓練の実施をはじめ、防災意識を啓発するための広報誌の発行など、多岐にわたる活動を展開した。

### 【平成18年度】

区分	被表彰者 (所在地・活動開始時期)	活動概要
功績表彰	かもちじちかい 金持自治会 (日野町・平成8年8月)	平成18年7月豪雨による床上浸水等の災害に対し、自治会の全世帯が協力して復旧作業に従事した。
功労表彰	かろちようじちかい 賀露町自治会 (鳥取市・昭和38年1月)	海岸部に位置するという地域特性から、毎年、高台への住民避難誘導等の地震津波対応訓練を実施した。
	たちかわいっちょうめじしゅうぼうさいかい 立川一丁目自主防災会 (鳥取市・平成8年8月)	災害時における迅速な避難、救援活動を行うため、災害時要援護者を含む住民情報データベースを作成した。
	みやがわちようにちようめじしゅうぼうさいかい 宮川町2丁目自主防災会 (倉吉市・平成14年2月)	効果的な防災意識の普及の機会として、多くの住民が集まる地区運動会の休憩時間を活用した防災活動等を実施した。
	あさひじよせいしゅうぼうたい 旭女性消防隊 (湯梨浜町・昭和46年)	女性による消防隊を結成し、防災訓練や救急救命講習の研修など、女性の視点を生かした防災活動を積極的に実施した。
	かみこくなかにちかいほうさいかい 加茂五区中自治会防災会 (米子市・平成7年4月)	地域内の消火栓が少ないため、町内の要所に自衛消火栓を自力で掘削するなど、地域防災力の向上に努めた。

【平成19年度】

区分	被表彰者 (所在地・活動開始時期)	活動概要
功績表彰	たかはしじしゅぼうさいかい 高橋自主防災会 (大山町・平成18年3月)	平成19年9月の局所的集中豪雨による床下浸水等の災害に対し、構成員が連携した被害拡大の抑制や避難誘導により、人的被害の発生を防ぐように努めた。
功労表彰	たつかわちようふんちようめじしゅぼうさいかい 立川町四丁目自主防災会 (鳥取市・昭和22年)	地域の子供会と連携した消火訓練の実施や全戸に防災関連情報を掲載した広報紙を配布するなど、防災意識の普及啓発に努めた。
	はなぞのちようふじんしよぼうたい 花園町婦人消防隊 (米子市・昭和57年10月)	女性の視点を生かした訓練等の防災活動に取り組むとともに、防災意識の普及啓発として防災講習会を開催した。
	ひろせまちじちこうみんかん 広瀬町自治公民館 (倉吉市・昭和30年代)	独自の自主防災マニュアル等の作成及び災害時住民世帯確認表の整備により災害時の安否確認等を行う体制を構築した。
	さんげんやちようじちかいぼうさいぶ 三軒屋町自治会防災部 (境港市・平成16年10月)	緊急時に対応できる体制の構築を目指すとともに、消防署と連携した煙体験の実施など、住民の防災意識の普及啓発に取り組んだ。
	うのじしゅぼうさいかい 宇野自主防災会 (湯梨浜町・平成18年1月)	地域の実情に合った防災体制を確立するとともに、地区の運動会において防災活動を取り入れた競技を実施した。
	いけうちじしゅぼうさいそしき 池の内自主防災組織 (江府町・平成15年4月)	地域に若者のいない平日昼間の災害に対応するため、高齢者を中心とした防災体制を構築した。

【平成20年度】

区分	被表彰者 (所在地・活動開始時期)	活動概要
功労表彰	たけだ やすあき 武田 恭明 (鳥取市・個人)	鳥取市自主防災会連合会の設立に尽力し、平成18年から同連合会の会長として、合併後の自主防災組織の体制整備及び活性化に貢献した。
	よしかたおんせんよんちようめじしゅぼうさいかい 吉方温泉四丁目自主防災会 (鳥取市・平成17年10月)	心肺蘇生法講習会の開催や災害時要援護者名簿の作成など新たな取組を行い、地域の防災力向上に努めた。
	がもうちくじしゅぼうさいかい 蒲生地区自主防災会 (岩美町・平成17年3月)	消火や炊き出し等の訓練を積極的に実施するとともに、災害時要援護者名簿の作成など新たな取組を行い、地域の防災力向上に努めた。
	いっくじちかい みどり一区自治会 自主防災組織 (北栄町・平成17年10月)	独自の防災マニュアルや世帯別災害時避難確認表の整備をはじめ、防災資機材の整備、救命講習会等の開催など、住民の防災意識の普及に取り組んだ。
	ひえづかみ じしゅぼうさいいんかい 日吉津上2自主防災委員会 (日吉津村・平成17年2月)	独自の住民避難マニュアルの作成や資機材の整備を進めるとともに、消防団の指導による操作訓練を行うなど、住民の防災意識の向上に努めた。
	やまがみ かい 山上まちづくりの会 (日南町・昭和58年)	山上地域全体で防災訓練を行うなど地域をあげて防災活動に取り組むことにより、住民の防災意識を高めながら自主防災体制を確立した。

【平成21年度】

区分	被表彰者 (所在地・活動開始時期)	特に優れた活動
功労表彰	さんのおだんちじしゅぼうさいかい 山王団地自主防災会 (鳥取市・平成8年4月)	町内で発生した4件の住宅火災において、小型ポンプによる消火活動を実施した。そのうち2件は、小火火災にくい止めるなど、地域の防災対策に貢献した。
	くらよしまちなみほぞんかい 倉吉町並み保存会 (倉吉市・平成15年10月)	倉吉市防災センター「くら用心」の管理業務を受託しているほか、地区内の小学校等が実施する防災教育に協力するなど、町並みの保存及び防災意識の向上に貢献した。
	かいだにしまち かほくちようじしゅぼうさいかい 海田西町・河北町自主防災会 (倉吉市・平成19年1月)	公民館を災害時の「災害対策本部」と一次避難場所に設定するとともに、周辺の自主防災組織が所有する資機材を公民館に保管し、緊急時に必要に応じて活用できる体制を確立するなど、地域防災力の向上に貢献した。
	よしかわしょうぼうだん 吉川消防団 (若桜町・昭和34年5月)	地元婦人会、常備消防及び町消防団との連携強化に努めるとともに、吉川消防団に地区住民の約14%が加入するなど、地域住民の協力を得ながら地域防災力の向上に努めた。
	にしたかお じしゅぼうさいかい 西高尾自主防災会 (北栄町・平成19年1月)	独自に自主防災会長(自治会長)を補佐する「防災専門員」を設置した。平成20年2月には、防災専門員が防災士の資格を取得するなど防災体制の強化に努めた。
	すぎじしゅぼうさいかい 杉地自主防災会 (琴浦町・大正36年)	琴浦町が取り組んでいる防災教育(地域防災スクールモデル事業)に協力し、地域の防災力及び防災意識の向上に貢献した。

【平成22年度】

区分	被表彰者 (所在地・活動開始時期)	特に優れた活動
功労表彰	なかのごうじしゅぼうさいかい 中ノ郷自主防災会 (鳥取市・平成元年12月)	災害時要援護者の避難支援マニュアルやマップを創設し、登録名簿を作成するとともに、災害時要援護者の避難支援の内容も取入れるなど実践的な防災訓練を実施した。近隣の社会福祉法人と災害時の避難場所に係る協定を締結した。
	あさひだちようじしゅぼうさいかい 旭田町自主防災会 (倉吉市・平成19年1月)	防災資機材について、年次的な整備に加え、登録方式による構成員の保有スコープ等の活用体制を整えるなど、独自に工夫した取組を行った。また、防災計画の周知、火災警報器の普及活動、定期的な講習会の開催に加え、民生委員と連携し、災害時要援護者の把握及び災害時の避難所や連絡・行動等について周知した。
	いでかみちくじしゅぼうさいかい 出上地区自主防災会 (琴浦町・昭和35年)	火災警報器を共同購入し、全戸設置に取り組んだ。また、災害時要援護者の調査を行い、公民館にマップを掲示したほか、自衛消防団・シルバー消防隊・女性消防隊を組織し、近隣集落との合同訓練も実施した。
	みなとまちじちかいじしゅぼうさいぶ 湊町自治会自主防災部 (境港市・平成18年7月)	高齢化の進む市街地において、災害時に高齢者・独居の安否を迅速に確認するため、現地での訓練に取り組んだ。地区住民の参加による消火訓練を毎年実施し、独自の研修会も開催した。
	とっとりけんさくせいきょうかい 鳥取県さく井協会 (米子市・昭和62年4月)	平成17年から防災井戸ボーリングの掘削を毎年実施し、地域に無償で贈呈した。これまでに、鳥取市榎谷公園、倉吉市ラグビー場、米子市東山公園等に設置した。
	とっとりけんけんちくしかいじよせいいいんかい 鳥取県建築士会女性委員会 (鳥取市・平成4年4月)	自主防災組織の研修会において、住宅の大型模型や「紙ぶるる」を活用し、地震に対する「筋交い」の有効性や耐震化の重要性を啓発した。また、県内の小学校においても、「紙ぶるる」の実験等による地震学習を開催した。

【平成23年度】

区分	被表彰者 (所在地・活動開始時期)	特に優れた活動
功績表彰	とうざいちようちいきんこうきょうぎかい 東西町地域振興協議会 (南部町・平成19年7月)	訓練指導車を使用しての消火・通報訓練等の実施など、平時から災害時の初動体制づくりに努めており、平成23年台風12号の際には、町の避難勧告の発令より先に、地域住民に早めの避難を呼びかけて回り、人的被害を未然に防いだ。
	しゃかいふくしほうじんほうせいかい 社会福祉法人萌生会 グループホームなごみ (伯耆町・不明)	避難計画に基づき、定期的に訓練を実施するなど平時から入所者の安全確保に努めており、平成23年台風12号に際しては、夜間の避難を回避するため、早期に避難を開始(土砂災害警戒情報の発表前に避難完了)するなど入所者の安全な避難の確保に努めた。
功労表彰	かちみじしゅぼうさいかい 勝見自主防災会 (鳥取市・昭和38年5月)	定期的な放水訓練、設備点検、講習会等の実施をはじめ、気高町地域福祉推進協議会と協力し、防災マップの作成・各戸配布を行った。また、毎年2月には過去の大火を教訓とした「とうがらし味噌」という行事を実施するなど、住民の防火・共助意識の高揚を図った。
	つわらじえいしゅうぼうだん 津原自衛消防団 (倉吉市・平成16年9月)	防災マップの作成・全戸配布・定期更新をはじめ、危険箇所の点検や女性を中心とした訓練・民生委員と連携した訓練、防災研修会の開催など、継続的に地域防災力の向上に努めた。
	みなとまちじしゅぼうさいかい 港町自主防災会 (琴浦町・平成20年1月)	独自に作成した防災マップ・防火ステッカー及び収集した防災資料・パンフレット等の全戸配布や、津波を想定した避難誘導・搬送訓練、救命講習等を実施することにより、緊急時に対応できる体制を構築した。
	おおたきじえいしゅうぼうそしき 大滝自衛消防組織 (伯耆町・大正9年)	避難訓練時の防災ハンドブックの配布や災害時要援護者台帳の整備を行い、住民の防災意識の高揚を図った。また、組織の団員を定期的に更新し、誰でも災害時に資機材が操作できるよう努めた。
	とっとりげんぎじゅつしかい 鳥取県技術士会 (鳥取市・昭和61年11月)	倉吉農業高等学校や小学校で防災教育を行い、会員の専門知識を生かしながら、講義やDVD視聴のほか、クイズやハザードマップ作成などを通じて防災の基礎知識を教え、災害に強いまちづくりに貢献する人材を育成した。

【平成24年度】

区分	被表彰者 (所在地・活動開始時期)	特に優れた活動
功績表彰	おおしまじちかいじしゅぼうさいそしき 大島自治会自主防災組織 「防災大島」 (北栄町・平成20年1月)	平成23年台風12号の際に、地域周辺の巡回及び独居高齢者の安否確認、放送による情報提供を行い、住民の安全確保に努めた。なお、平常時は、防災スタンプラリーや図上訓練等により災害に備えている。
功労表彰	たかまつちようじちかいぼうさいぶ 高松町自治会防災部 (境港市・平成17年7月)	毎年実施される町民運動会の休憩を利用して防災訓練を実施するほか、ハザードマップの活用法や早期避難及び自助・共助の重要性等を考える「防災の集い」を開催し、住民の当事者意識を高めた。
	ふゆう きとちいきんこう あいま富有の里地域振興 きょうぎかい 協議会 (南部町・平成19年6月)	要援護者を地域で支えるため、防災情報を一括管理できるシステム「電子版地域見守りマップ」を独自に構築し、防災活動に活用している。また、中学校の防災訓練に出向くなど、防災教育の推進にも貢献した。
	ひねづしもぐちじちかい 日吉津下口自治会 (自主防災委員会) (日吉津村・平成21年以前)	内容検討会を何度も重ね、災害別の避難所等を示した「自主防災(減災)計画」を策定し、全戸に配布した。また、毎年訓練を実施し、参加者アンケートや反省会での意見を基に議論を重ね、防災体制に改善を図った。

にしつぼぶらくじしゅぼうさいかいぎ 西坪部落自主防災会議 (大山町・平成18年2月)	各種訓練や講習のほか、県防災研修の受講者による受講報告会や、各戸への防災用品の紹介等により、地域防災力の底上げを図った。また、福祉施設と連携し、訓練協力や停電時の支援を行った。
みくえいじょせいしやうぼうたい 福栄女性消防隊 (日南町・平成18年4月)	住宅用火災警報器の設置普及のため、各家庭を訪問して必要性を説くとともに、高齢者世帯等における取り付け支援を実施した。また、保育園の運動会等、種々の機会を捉え、防火対策等の推進活動を行った。

### 【平成25年度】

区分	被表彰者 (所在地・活動開始時期)	特に優れた活動
功績表彰	みやがわちやうにちやうめじしゅぼうさいかい 宮川町2丁目自主防災会 (倉吉市・平成14年2月)	平成25年7月6日深夜に発生した建物火災において、初期消火を行い、延焼の拡大を防ごうと努力した。また、避難の呼びかけや被災者のサポートを行った。
	とくまんじしゅぼうさいかい 徳方自主防災会 (琴浦町・平成21年1月)	平成25年7月15日の大雨の際、冠水により民家への浸水の危険性があったため、自主的に対策本部を設置し、浸水危険家屋への土嚢の設置や周辺の河川を監視するなど、迅速な対応を行った。
功労表彰	ふくべちくじしゅぼうさいかいれんらく 福部地区自主防災会連絡 協議会 (鳥取市・平成20年5月)	毎年「福部地区防災フェア」を実施し、地域住民の防災意識の向上を図った。また、近年は、津波対策として沿岸部町内会に対し、津波避難訓練の協力を行った。
	みろかちやうじしゅぼうさいかい 見日町自主防災会 (倉吉市・平成18年1月)	指定避難所を見直した結果、企業の立体駐車場が最も適した場所だと判断し、有事の際には企業の駐車場に一時的に避難することとし、町内企業と協定を締結した。
	とまりさくじしゅぼうさいかい 泊3区自主防災会 (湯梨浜町・平成18年4月)	毎年、防災訓練を実施し、各班の役割を明確にすることで初動体制の確立を図った。訓練後には反省会を行い、訓練参加者からのアンケートや反省会から出た課題を次の訓練に生かせるよう話し合いや体制の見直しを行った。
	かいがわじちかい 海川自治会 (海川防災対策策定委員会) (日吉津村・平成22年4月1日以前)	地区内の各種団体や役員等によりワークショップを重ね、防災対策ハンドブックを作成し、全戸配布を行った。また、自治会で決定した12箇所の災害直後の一次集合場所に独自に作成した防災キャラクター付きの看板を設置し、一次集合場所が分かるように工夫した。
	ほうきちやうくちやうきやうぎかい 伯耆町区長協議会 (伯耆町・平成20年4月)	伯耆町防災の日にあわせて、防災活動事業を実施しており、全集落に防災活動を呼びかけ、各集落で避難訓練、消火訓練、避難所における非常食の試食訓練等を実施した。
	よしはらじしゅぼうさいそしき 吉原自主防災組織 (江府町・平成15年4月)	高齢化率が高い状況の中、集落の活性化を図るためにボランティア組織を結成し、地域コミュニティや地域助け合い活動を行った。また、防災マップの作成を行い、要援護者の見守り、支援体制を構築するため、何度も話し合いを重ねた。

【平成26年度】

区分	被表彰者 (所在地・活動開始時期)	特に優れた活動
功績表彰	小竹自主防災会議 (大山町・平成23年6月)	平成26年8月17日の大雨の際、集落の判断でいち早く対策本部を設置し、集落内の浸水危険箇所に土嚢を設置するなど迅速な対応を行い、被害をゼロに抑えた。
功労表彰	大正地区自主防災会連絡協議会 (鳥取市・平成21年10月)	毎年、防災訓練を実施するとともに、作成した地区防災マップの活用による避難所の確認をはじめ、洪水時の避難の目安の一つとするため、「千代川想定浸水深表示板」の設置等を実施している。
	円谷町自主防災会 (倉吉市・平成18年1月)	防災マップを作成したほか、公民館を建て替える際、避難所として利用できるよう各所に工夫を凝らした。また、主婦や高齢者でも容易に使うことができる消火器具を配備した。民生委員と協力し、高齢者の見守りを実施している。
	城園ハイツ防災会 (米子市・平成14年3月)	毎年、防災訓練を実施し、訓練後には検討会を開き、訓練の成果や課題を次の訓練に生かすための話合いや体制の見直しを実施した。また、毎年、危険箇所の見回り、避難経路の見直しを実施するとともに、防災会の各部長をある程度固定し、中長期的な活動を実施できるように工夫を施した。
	崎津7区防災会 (米子市・平成13年10月)	防災マップの作成や要配慮者の個別支援プランを策定し、情報共有体制を構築した。防災会の各部長を固定し、中長期的な活動ができるように工夫を施した。また、防災倉庫に様々な資機材を整備し、定期的なメンテナンスを実施した。
	富吉自治会 (日吉津村・昭和30年4月)	「自助」・「共助」を推進するため、「助け合いカード」を作成し、近所で顔の見える関係を築くとともに、「災害時避難マップ」を作成し、公民館に掲示した。また、境港市米川町自主防災会と連携し、防災力の向上に努めた。防災訓練とビンゴゲームを組み合わせ、老若男女を問わず、多くの住民が訓練に参加できるよう工夫を施した。

【平成27年度】

区分	被表彰者 (所在地・活動開始時期)	特に優れた活動
功労表彰	美保地区自主防災会連絡協議会 (鳥取市・平成20年5月)	千代川に面した地域特性から洪水に対する危機意識が高く、毎年、防災研修会や防災訓練を実施した。住民と防災関係機関が一体となった初期消火訓練等の実施をはじめ、平成25年9月4日の大雨による大路川流域への避難勧告の対応を踏まえた避難訓練を実施した。また、専門家を招へいし、災害時の避難行動と防災マップの作成に関するワークショップを開催し、内水氾濫、用水路・暗渠等を網羅した防災マップを作成した。
	緑ヶ丘グリーンハイツ防災会 (米子市・平成12年3月)	結成以来、毎年継続して消火訓練、避難訓練、搬送訓練をはじめ、チェンソーやバールを使用した倒壊家屋救出訓練、同防災会の災害対策本部運営訓練等の多様な訓練を実施した。その成果により、平成23年9月に台風第12号が襲来した際は、佐蛇川の監視、住民への広報活動や避難誘導、要配慮者に対する避難支援、地区避難所の開設等を実施し、災害の未然防止を図った。

<p>おたてちくぼうさいかい 御建地区防災会 (米子市・平成7年9月)</p>	<p>防火意識が非常に高く、毎月1回の消防ポンプによる消火訓練をはじめ、毎月2回の夜回り等の防火活動を実施した。また、独自に小型動力消防ポンプ付積載車を保有し、地区内の火災に対する迅速な消火活動を実施するとともに、地区内にAEDを3カ所、消火器を5箇所を設置し、定期的に防災資機材の使用講習会や点検を実施した。</p>
<p>わだじしゅぼうさいかい 和田自主防災会 (倉吉市・平成19年1月)</p>	<p>従前から火災による被害を軽減するため、自衛消防団を設置し、消防活動を中心に実施してきた。しかし、近年の地震、豪雨等の災害を踏まえ、平成19年1月から同防災会を立上げ、あらゆる災害に対応するための防災マニュアルの整備、避難訓練や防災懇談会の開催、迅速な避難誘導や安否確認のための区民台帳の整備等を実施した。</p>
<p>なかのじえいしょうぼうだん 中野自衛消防団 (倉吉市・平成19年1月)</p>	<p>火災、地震等による被害の軽減を図るため、平成19年1月に結成され、毎年、消防署の指導による消火訓練を実施した。特に、高齢者世帯を対象とした消火訓練等の実施をはじめ、地区内への消火器の設置など高齢者の防災活動に配慮した防災資機材の整備も計画的に取り組み、高齢者の防災力向上に力を注いだ。また、平成25年に危険箇所等を記載した防災マップを作成した。</p>
<p>いとるみじしゅぼうさいかい 糸白見自主防災会 (若桜町・大正11年)</p>	<p>火災による被害を軽減するため、大正11年に自衛消防団を結成し、更に、昭和61年10月には婦人消防隊を結成した。しかし、近年の大規模災害を教訓に、平成26年5月に2つの消防組織を下部組織に置いた同防災会を立上げ、消火訓練をはじめ、普通救命講習、避難訓練等を実施した。その成果により、平成25年7月、平成27年6月に発生した建物火災で、消防機関が到着するまでに消火活動を実施し、被害を最小限に抑えた。</p>
<p>おかしがひらかい こしが丘自治会 (伯耆町・昭和49年9月)</p>	<p>同自治会は、平成24年6月からこしが丘友の会（老人クラブ）と連携して、要配慮者の把握（災害時要援護者名簿の作成）、要配慮者を対象とした避難訓練の実施、要配慮者に対する防災知識の普及啓発等の要配慮者対策を重点的に実施した。また、平成25年8月に自主防災組織の組織体制や役割分担の明確化を図った。</p>
<p>ひえづ イオンモール日吉津 (日吉津村・平成18年8月)</p>	<p>イオンモール日吉津は、平成18年8月に日吉津村とイオンリテール㈱中四国カンパニーとの間で締結された「災害時における防災活動及び平常時における防災活動への協力に関する協定書」に基づき、以後、地元自治会が主体的に行う避難訓練において避難場所となる立体駐車場を訓練会場として提供するとともに、店舗の従業員も積極的に訓練に参加し、地域住民と一緒に避難誘導訓練を行うなど、地域の自主防災活動に積極的に協力した。</p>

【平成28年度】

区分	被表彰者 (所在地・活動開始時期)	特に優れた活動
功労表彰	<p>遷 番地区自主防災会連絡協議会 (鳥取市・平成8年4月)</p>	<p>地区内全ての自主防災会の参加を得て地区防災訓練を毎年実施し、避難行動要支援者の把握、避難誘導等を行っており、地区全体で連携して活動している。更には、日本赤十字社鳥取県支部から講師を招き、AED講習、緊急時の応急手当等の救急講習を実施するなど、工夫を加えつつ地域一体で取り組む事業を展開している。</p>
	<p>旗ヶ崎二区自治会防災会 (米子市・平成15年5月)</p>	<p>防災訓練(避難、初期消火、救急救命訓練等)を毎年数回に渡り実施している。また、防災会内の要配慮者マップ及び要配慮者リストを作成し、避難行動要支援者の支援担当や避難場所を班ごとに決めている。結成当初からこども会と連携し、こども達で「わかとり消防団」を発足しており、毎年夏に火の用心を訴えて町内巡回を行っている。</p>
	<p>河岡自治会防災会 (米子市・平成12年3月)</p>	<p>防災会内に独自の組織(河岡消防団)を設置している。また、防災訓練を年に2、3回実施しており、地震・津波災害を想定しての図上訓練(DIG)や消火栓及び消火器を使用した消火訓練など様々な内容の訓練を実施している。更には、独自に有線放送施設を有し、屋外拡声スピーカーを設置するとともに、戸別受信機を全家庭に配備し、訓練で活用している。</p>
	<p>陸上地区自主防災会 (岩美町・平成25年7月)</p>	<p>地震・津波を想定し、住民避難訓練、防災資機材を利用した訓練、生活用水の確保訓練等を実施した。コミュニティ新聞「くがみ新聞」に防災情報を定期的に掲載しているほか、防災専門誌「会報 ぼうさい陸上」を発行し、住民の防災意識の向上に努めている。更には、避難行動要支援者、世帯員名簿の整備、独自の海拔表示板の設置を推進している。</p>
	<p>東 田後区自主防災会 (湯梨浜町・平成25年2月)</p>	<p>各班の役割を明確にし、初動体制の確立など区民参加型訓練を行い、地域住民の防災意識の高揚に努めている。避難行動要支援者名簿の充実拡大に取り組んでいるほか、防災訓練(防災講習、地震・煙体験、初期消火、避難、炊き出し)を毎年3回実施するとともに、防災活動への参加者を増やすため、他行事と連携した防災イベントの企画運営に尽力している。</p>
	<p>小田自主防災組織 (倉吉市・平成24年1月)</p>	<p>毎年、防災に関する講演会を実施するほか、消防団と連携して防災訓練を行っている。更には、住民同士で意見交換を行うことにより、専門知識を有する住民を把握するとともに、危険箇所、避難行動要支援者、独居者等の情報を集約した防災マップを班別に作成した。</p>
	<p>本田 卓巳 (米子市・個人)</p>	<p>消防団員として、平成26年8月に市内初の「福生東少年消防クラブ」の設立に携わった。同クラブは、同氏が企画・立案・連絡調整し、救急講習、水消火器による消火訓練等を消防署の協力を得て実施するほか、毎月1回程度、消防団員と火の用心を訴えながら防災パトロールを実施するとともに、自分達の地域を見回って独自の防災マップを作成している。</p>
	<p>横山 ひとみ (鳥取市・個人)</p>	<p>鳥取県防災教育コーディネーターとして、過去の災害の教訓や地理的条件等を踏まえた県独自の防災教育プログラム「鳥取型防災教育の手引き」の作成やその効果的な活用に取り組んだ。また、鳥取県学校防災アドバイザーとして、県内の学校で実践的な防災教育を行うとともに、鳥取県自主防災活動アドバイザーとして、防災学習会の講師として活動している。</p>